

第6回 山武市景観計画策定委員会 議事要旨

◆日時：平成26年8月26日（火） 13時55分～15時55分

◆場所：山武市役所新館第5会議室

◆次第

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 山武市景観計画（素案）について

(2) 景観ガイドラインについて

4 その他

5 閉会

◆出席委員

北原理雄委員長、中谷正人委員、福田順子委員、中村順子委員、行木静委員、廣口芳治委員、稗田忠弘委員、石橋宏委員、小川千洋委員、【欠席】猪野源治副委員長

◆事務局

都市建設部：小崎部長

都市整備課：八木課長、大谷主幹、秋葉副主幹、吉原主査補、若梅主査補

昭和株式会社：青野、加藤、柴崎



◆議事

【要旨】

(1) 山武市景観計画（素案）について

第5回策定委員会での意見を受けて、事務局で整理した山武市景観計画（素案）全体の内容について意見交換を行い、「“私たちの暮らしが、心が景観をつくる”とした方が山武市としての心得が伝わる」など、心得・作法についての意見や、各方針の細かい表現等についての意見がいくつか挙げられ、その他では写真の差替えや図の調整などについての意見も挙げられた。

(2) 景観ガイドラインについて

今後、検討を進めていく景観ガイドラインのイメージとして、構成案を提示し、現時点では特に意見はなかった。

次回の策定委員会では、より具体的な形で景観ガイドライン案のたたき台を作成し、意見交換を行うこととなった。

【議事内容】

(1) 山武市景観計画（素案）について

名前	意見内容
委員長	・ 前回の意見を、正面から受け止めて精査してくれたと思うが、皆さんいかがか。
委員	・ 我々の無理と言えるような話を受け止めていただき、人の心にまで触れられていて、景観というものの捉え方が非常に熱くなっており、良くなっている。細かく気になる所はあるが、これが実行していければ、本当に良い景観づくりができるのではないかと思った。
委員	・ 30頁の類型別方針について、「新たな魅力を創る」、「作法を創る」、「後世につなぐ」、「活動の輪を広げる」「つなぐ」、「眺望を守る」といった、未来に向けての言葉があるが、「残す」という言葉はないのか。 ・ また、白砂青松の海岸に“ヤシ”は合わないと思う。
委員長	・ 「残す」というキーワードについては入れないのかというご意見と、“ヤシの木”についてのご意見である。
事務局	・ 「残す」という言葉自体は出てこないが、「つなぐ」ということは残さなければつないでいけないと捉えている。 ・ “ヤシの木”については、非常に難しい問題である。確かに、白砂

	<p>青松とうたわれた海岸であれば、相応しくないと思うが、一方で過去4回のフォトコンテストで、本須賀海岸に特化するのとして、“ヤシの木”は良いと言う方も多く、賛否両論である。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・伊藤左千夫のことを良くわかっていて、歌碑を目的に海岸に来る人はまず九十九里の景観に感動するが、ヤシの木が邪魔である。観光の意味では良いが、せめて歌碑の周りだけでも整備してほしいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後に向けた取り組みの検討の中で、担当各課と連携して施策を行っていく際も、景観の観点を入れて進めていくつもりなので、ここで出たご意見については担当課に伝え、検討を図る形を取らせていただければと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・18頁、43頁の“ヤシの木”の写真はなくても成り立つ気がする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「4-6 公共施設」に関連したことについて、今は更地となっているが松尾庁舎跡のこれからの設計について、7月号の広報さんむに「松尾を何とかしよう」と載せていただいた。サンプスギを基調とした建物になるという事で、本当に素晴らしいものになる。周りからわざわざ見に来てもらえるようになるのが私の夢であり、機能的にも良いものが出来れば良いと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・かつては公共施設が中心的な役割を果たし、景観を育てていくという時代もあった。最近では立派な物を造ると怒られる風潮が出来上がっているが、もう一度地域に重要な建物があった方が良いという認識が戻ってきたようで、そういう意味ではしっかり良いものを造っていける時代になったのではないかと思う。また、木造の公共施設が増えてきている。木を使うことは良いことである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・話は戻るが、3頁の海岸（ヤシの木）の写真については、モノは良いが、トップに来る写真なので、先ほどの検討経緯を考えると少し気になる。 ・また、成東、松尾、蓮沼あたりの景観についてはイメージが強く出されているが、旧山武のイメージが少し弱いと感じた。例えば、30頁からの各写真を見ると、何故ここに森林の写真が1枚もないのかが気になった。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「水・緑」のところに入るのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに「水・緑」の所に入ってきてもいいと思った。あくまで見た目の印象であるが。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに旧山武の山林がもう少し前面に出てきて良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい内容の指摘をしても良いか。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日いただいたご意見で案を作成して、パブコメにかけるので、細かい点についてもご意見を頂きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーン別方針について、各ゾーンの頭にイラストを使用しているが、写真を使わなかったことについては何か理由があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山武市の中のゾーンはそれぞれが広いため、広がりを感じられることが、各ゾーンでの魅力となっている。そこで何か代表的な写真を載せるのではなく、広がりを意識したイラストを作成したという経緯である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 綺麗な絵が描かれているが、この位置で空撮をすればよかったのではないかと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ このイラストについては航空写真を基に描いたものであるが、インターネット上で公開されている航空写真は真上から撮影されているので、広がりを感じられるよう、斜めから立ち上げて描いたものになっている。この絵の通りの写真があるわけではない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 48 頁の景観づくりの心得について、「私たちの家がさんむの景観をつくっている」とあるが、「私たちの家が…」と言ってしまうと、拡散してしまう気がする。例えば、「あなたの家が山武の景観を作る」あるいは「私の家が山武の景観を作る」など、これから取り組むという形で表記した方が良いのではないか。 ・ 49 頁の作法 2 の最後に「良い雰囲気…」とあるが、わかったような、わからないような感じがする。これは「山武らしい」などにした方が、ニュアンスが伝わると思う。 ・ 作法 3 の最後に「エアコンの室外機などの付帯施設についても、見せ方…」とあるが、「見せ方」ではなく、見えてしまうものなので、「見え方」を配慮しようというような表記の方が、相応しいのではないかと思った。 ・ それから、58 頁の「シンボルとなる建造物・樹木」について、建造物はいいが、樹木が枯れてしまったらどうするのか。例えば桜の木というのはあまり長生きしない。植え替えなどについて考えておかないと、歳をとっても「指定だから切れません」という話になったら持ち主が困るのではないかと思った。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心得については、ご指摘のように「～作る」が良い。主語は当事者意識をみんなに持ってもらうということで、「私たち」の方が良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の意識を持つために、「私たち」でなく「あなたが」とした方が良いと思った。「私たち」とすると何となく当事者の意識が

	<p>拡散してしまうのではないか思った。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「私たち」や「あなた」という事よりも「家が…」という表記が気になった。ここで言いたいのは「人の心がつくるものだ」という事だと思うので、「私たちの心が…」と表記した方がすんなり読めると思う。「家が…」とすると限定しており、美しくない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「心」あるいは「暮し」かもしれない。計画全体では家だけの話をしていないので「家が…」としない方が良い。 ・樹木については指定するときに考えれば良いと思う。枯れたときは、長らくありがとうございましたとみんなでお祭りをする事例もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画全体がすっきりしたという印象があり、わかりやすくなった。その中で、どこでも「景観」という言葉が使われていると、「山武市の景観とは何？」と聞かれたときになんと答えていかかわからない。この「景観」を何か山武らしい表現に直せないか。言い古された言葉ではない方が良いと思うがあまり浮かばない。「風情」という言葉は却下されてしまったが、別にこだわりがあるわけではない。山武市には新しいものも、古いものもあり、東金市とは違う風情がある。外の人から見たら、圧倒的に山武市の方が風情があるので、「風情」と言う言葉を意識していた。あるひとつの言葉があるだけで、「そうか、そういう風にするために景観計画はあるのだな」とわかると良い。 ・類型別の方針については、現況で整理した様々な課題を何とかしなければいけないという思いで書いたのだろうと納得した。 ・類型別方針のキャッチフレーズについて、だいぶ短くしてもらったが、それでもまだ2つの言葉が並んでいる。例えば「水・緑」については「自然を保全しつつ、新たな魅力を創る」ではなく「自然に新たな魅力を創りだす」、暮らしの場・まちなみについては、「まちなみの作法を知る」や「まちなみをきちんとする」、歴史・文化については、「地域の歴史・文化を後世につなぐ」、活動・人の営みについては、「生業や日々の活動をつないでいく」、眺望については、何か広がりを経験できる眺望という意味合いの工夫ができれば良いと思った。そういった意味で少し簡略化されると、主張がはっきりすると思う。 ・「4-1 共有すべき作法」の、「中は自分たちのもので、外はみんなのものだ」という考えは良いが、「物置」の表記は必要あるのか。物置は外に見えるように置かないと思う。物置を見せるように作

	<p>るのなら別だが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それから、類型別については「景観資源“が”目指す姿」で良いのか。こだわりがあるならそれでいいと思う。 ・パリでは、いろんな服を着た人たちが主役になって、景色が本当の意味での背景となるため、色の規制をしっかりとやっているのだと、あるデザイナーから伺った。山武市ではそこまでやる必要はないと思うが、来た人が「自分が主役」と思えるような景観づくりをしたらいいのかなと思う。 ・計画にも出てくる子供たちの学習について、これについてはとても大切だが、実はほとんどの小学校で環境教育がされていない。69頁の教育、生涯学習のところで、子ども達を始め、景観づくりの担い手育成に取り組むことを20年も30年もうたっている以上は、教育委員会に交渉してでも、まちを守る教育のカリキュラムを組んだ方が良い。20年後、30年後に中心になる人達（担い手の子供たち）を今から育てていくところを強く打ち出してもいいのではないかと思った。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズについては、2つ並んでいる所をもう少し短くしたほうが良いというご指摘をいただきましたので宿題とする。 ・30頁の類型別の「景観資源“が”目指す姿」については確かに少し気になる。「景観資源“の”目指す姿」の方が普通だが、「が」と言いたい気持ちが強くなるのだろう。しかし「が」というと「我」が出て主語としては強い感じがする。 ・「景観」という言葉の指摘は表紙のタイトルのことか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトル（理念）である。「山武の景観ってなんなの」と聞かれてもなんと答えればいいのかと思った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画のシステムとして、国の法律に従っている位置づけなので、「景観」という言葉を使わないとその関係が見えてこない部分があるのではないかと思う。しかし、気持ちはすぐわかるので、どこかで「景観」という言葉を言い換えてなにか活かせるような形になったら良いのかなとは思う。 ・重箱の隅で申し訳ないが、49頁の作法1のゆとりある配置について、作法2があって作法3に向かって、どんどん家の間が狭くなっているがどうしたものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・作法1は建物単体、作法2は向こう3軒両隣、作法3は街並みの連続性という観点で、家の数を増やした結果、敷地が無くなってしまっている。まさにここではゆとりの配置をうたっているので、

	そこは調整する。
委員長	・作法1では大きな建物があるので、こんなイメージになると思うが、もっと普通の家と桁違いな大きさであることをはっきりさせた方が良い。作法3では少し建て詰まりが目立つ。
委員	・むしろ今日配っていただいた景観ガイドライン構成(案)の「外構・緑化」の絵には山などが書かれており、この絵の方が相応しいと思う。
委員長	・この方が、風情があって良い。
事務局	・景観計画の方では、簡単なイメージを描き、ガイドラインの方で、もう少し手を加えたイメージをつくっていきたい。
委員長	・景観計画の方でも魅力的な絵であってほしいので、よろしくお願いしたい。他にも細かい事でも大きなことでもお気づきの点は何かあるか。
委員	・類型別のキャッチフレーズについては、私も2つの言葉よりもう少し簡素化した方がいいのではないかという気もした。 ・前回も少し話に出たが、29頁の目標3「生業をつなぐ」の写真について、農業と林業に特化しているので、商業関係を出してはどうか。商業に関する写真があれば、幅が広がる気もした。 ・類型別の方針の中で、キャッチフレーズの文字が白抜きになっており、写真を生かしているのは良いが文字が見にくい。写真との兼ね合いもあると思うが、せっかく強調するキャッチフレーズなのでもう少し明確な色表示が出来ると良いと思った。
委員長	・生業についてももう少し幅広いイメージを見せるようにしてほしいというご意見と、キャッチフレーズの見え方についてのご意見をいただいた。キャッチフレーズについては、30頁ははっきり見えるが他が見にくいので、調整して欲しい。
委員	・ごちゃごちゃしていると見にくい。
委員	・私にもどうしたらいいかは言えないが、色を統一するかあるいは、写真の反対色を使うなど工夫が必要である。
委員	・雑誌をやってきた身として、この文字や丸を同じ色で統一しようとすると難しい。暖色系と寒色系の両方が入っているのでどちらかの色が負けてしまう。映えさせるためには、補色を使えばいいのだが、全体が統一できないというジレンマがある。それについては、デザイナーの方に読みやすくしてもらいたい。
委員	・大きいキャッチフレーズで写真をつぶしてしまっている。写真を

	殺さない程度のところに文字を配置した方が、読みやすいし、写真も見やすいのではないかな。
委員	・私たちとしては、デザイナーさんに読みやすくしてくださいと注文でいいのではないかな。
委員	・14頁と34頁の海岸の写真は、海岸の上に人間が立って撮影しているが、もう1、2m上からだと、海はもっときれいに見える。
委員長	・どこまでできるかはわからないが、出来るだけ良い写真を使っていただきたいと思う。文字については、読めるようお願いしたい。
事務局	・先ほど出た「生業をつなぐ」の商業の写真のご意見について逆にお聞きしたい。どのような写真があると良いと思うか。
委員	・わたしもはっきりとしたイメージはないが、商工会の方にイメージがあればお聞きした方が良いと思う。「生業をつなぐ」の部分では農業と林業だけが強調されているように思うので、商業を代表するような魅力的な写真があったら良い。
委員	・オライはすぬまで、商業者と買い手が一緒に写っている写真が良いのではないかな。
委員長	・売り手と買い手が写っているイメージで、オライはすぬまの中の写真が良いと思う。
委員	・「生業をつなぐ」の作業をしている写真について、みんな下を向いているが、上を向いている楽しそうな写真はないかな。
委員	・笑顔がある写真が良い。
委員長	・生業については、人がいることがとても大事なので、下を向いていない写真を使うことにする。
委員	・直接関係するかわからないが、新しく子どもが生まれたり木やお花をプレゼントして育てていくようなシステムが、計画に書かずともあっても良いと思う。どこかの市でやっていると思う。
委員	・山武市でもやっている。プレゼントツリーというものをやっていて、3年が経つ。日向の森を市からお借りして、NPOがやっている。人にプレゼントをすると、一本自分の木がもらえる。私もあの森の中に3本ほどある。みんなで森林再生をやろうという事で、実際に参加してみると、自分たちが守っているという自覚がすごく出てきて良い。
委員	・私が言ったのは、子どもが生まれたときに市長が行ってプレゼントすることが出来ると良いと思った。
委員	・ちなみに山武のプレゼントツリーは一本3,500円。ケースに入れ

	<p>ると5,000円である。スギやサクラ、カシなどいろいろな種類がある。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育に関連して、千葉大の学生が、こども園の子どもたちと花壇を作っている地域ボランティアと一緒に活動してはどうかという提案をして、子どもたちに草刈や花植え等の体験してもらうことは素晴らしいことだと今年から実現させてもらった。来年以降もこども園と地域ボランティアのつながりが保たれていくと良いと思った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週子供たちが水やりなどの管理をしているかと言ったら、そうではない。植える時だけでは決して教育にならない。教育をするのであれば、「月に1回でも水やりに来ないと、あなたの木が駄目になるよ」という姿勢が必要である。志は良いが、子ども達が全然負荷を感じていない。食虫植物群落にもたくさん子どもが勉強に来るが、実際にボランティアでやっている人はいない。これでは守っていけないと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に盛り込む内容ではないが、今後いろいろな活動に写っていくときには、今のような重要な意見があるので、ご対応いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・読んでいくつか気になったことを挙げると、36頁の「山と共に成り立ってきた…」という言い回しが気になった。この内容から言うと「暮らしと共に成り立ってきた…」の方が良いと思うのでご検討いただきたい。 ・41頁「建物等の規制・誘導を通じて…」とあるが、ここの部分では景観条例の枠にはまってこないものが出てくると思う。例えば、田園の中の建物の規制と言っても、ミニ開発が圧倒的に多いので、おそらくこの条例からは漏れることが多いと思う。こうした一定規模のミニ開発についても、網にかけることが必要なのではないかと思うので、検討していただきたい。 ・44頁「まちなみ景観を創出するためのルールの検討が…」とあるが、実際機能するものになるのだろうか。これまでいろいろ検討されてきて、実際に今つくろうとしている駅前に、機能するルールづくりは出来るのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に機能するかどうかは、運用の仕方によるが、「ホッとさんむ」とあるが、建物などの高さを抑えて、駅を出たときにホッとするような演出をしていきたいということで進めている。駅前は景観計画の中の重点地区にあたるわけだが、協議会ではルールが決め

	<p>られるのではなく、あくまで意見を出してもらい、後で審議してもらおうプロセスの委員会だと思っている。今の段階では、色彩や壁面後退などについての検討はしている。景観に関してはこの間、提言書を提出した。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 56 頁の具体的な届出の話について、これは我々がここで細かい議論をしても隣近所にある景観条例と中身が変わらないものになると思う。規制をかける範囲など一般的なものになると思う。景観法という法律が何故期待されているのかと言うと、その土地独自のものが出来ることが一番の魅力だと思う。ここまでの内容で「山武らしい」というのをうたっているのですが、具体案があるわけではないが、規制の仕方についても山武らしいものがあつたら良いのではないかと。この頁にくると他と一緒にだと面白くない。 ・ 類型やゾーンに分けてまとめているので、「市民との協働」など、どうしても重複していることが多くなっている。こういう分け方とするとどうしてもそうなってしまうのかもしれないが、通して読んだときに少し煩わしいという印象を持った。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 36 頁は「暮らしと共に…」に修正し、41 頁の「建物等の規制誘導を通じて…」については、事務局から何かあるか。田園地帯に建つ建物がたいてい網にかからないものが多いという事であるが、山武市としては、そういうものに対してもやっていくという意思表示なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観形成基準の中に設けてあるように、店舗関係も出ないと限らない。その場合の意味合いで「規制・誘導を通じて…」と表記させてもらっている。ただミニ開発については、まだそこまで盛り込んだ内容にはなっていない。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きなものが田園風景の中の沿道にできるのは、ルールを作る必要がある。ミニ開発についても、山武市としても何か規制をかけることも考えられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな建物が景観に影響を与えるという意味では、規制をかけたかどうかと思った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネルについて、あれは暴力的ではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネルについては、どこでも設置して良いというわけではないと思う。計画では基本的な方向性を示すが、そういった大きなもの以外のミニ開発や太陽光パネルはどうしていくのかなど、具体的な内容については、ガイドラインに記載していくので今後練っていくことになると思う。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画はすごくわかりやすくなったと思う。実際に、今まで景観を考えていなかった人達が、景観を考えるようになることを考えたら、多少長い説明文があっても良いのではないかと思う。ただ「景観」だけでなく、これからは、子どもたちの教育などを巻き込んでいかななくてはならないと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・次の世代をどうするかというのは景観だけではないが、景観というのは子供たちがいろいろ参加しやすいものであるので、そういったところでどう育つか考えても良い。「おわりに」ところでもう少し強調した方が良いのかもしれない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全体でそうだが、電柱を地面の下に入れることは景観上すごく良くなるのではないかと思う。山武市でも考えていると思うが、徐々に地中化を進め、電信柱がない山武市になってくれたら他の都市のモデルになるのではないか。ある絵描きの方が「電信柱と電線を書くと日本になる」と言っていた。確かにそれこそ景観を邪魔しているのは電線と電柱ではないかと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・山武市では、どこかで地中化をやろうとしているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・山武市においては、無電柱化については駅前前で考えており、南口駅前広場と並行しながら検討しているところである。NTTがやっていることについてたまたま見てきたばかりである。ハード的に電線や電池などの影響で地中に埋まるとボリューム的にはかなりあり、歩道の半分は埋設管だらけになるのが現状である。既存のものがある所は良いが、将来宅地に埋めるときにどう接続するかという問題がある。景観の観点で見たときに、対象物に対して邪魔になるものについては、景観上問題であるが、逆に電柱が景観をプラスしているところもあるので、いろいろ考え方はある。NTTの話によると、無電柱化を進めてはいるが全国的に道路の整備の方が早く、無電柱化を進めているのに、電柱が立っているケースも多いという事である。今後無電柱化を進めていくと、場合によっては宅内の工事も発生する可能性もあるので、慎重に判断したい。基本的には出来る所から進めていきたいと思っている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・景観としてはスッキリするが、いろいろな問題があり、電柱からだ、新しい家が建っても線を簡単に引っ込めるが、地中化すると、その度に大工事になる。そういう意味では、ヨーロッパのように何百年も変わらないところであれば埋めても良いが、日本のようにどんどんまちが変わっていくとなかなか難しい。なので、まちの顔となる所から少しずつやっていくことが良いかもしれない。

	い。私の子どもの頃の電柱は絵になる。今の電柱は高く、大きいので絵にならない。
委員	・この辺りだと、東金のバイパスが2 km程無電柱化をしている。
委員長	・電柱がなくなると、すっきりするが周りの雑然とした風景がはっきり見えてしまうこともある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実は藤沢でも電柱を埋めているが、街灯や街路樹などがたくさんあり、電柱があってもなくてもあまり変わらない風景になっており、整備した効果がない感じがする。 ・榎戸駅を出たすぐ左の道路に沿って、マッチ棒みたいな並木がある。間が狭すぎるから成長しない。木を植えるときに成長を想定しないで、密に植えてしまうと、大変なことになる。景観の観点で「緑を増やしましょう」としたときに、緑をやたらと植えてしまうのはよし悪しで、特に街路樹を考えるとときには成長に合わせた計画が必要である。
委員	・街路樹は南房総で問題になっている。木に対する根っこの張り具合が足りなくて、気が枯れてきてしまう。設計の段階で、大きく成長することを考えていなかった。
委員	・そういうことが多い。
委員長	・やる前から考えるべきである。

(2) 景観ガイドラインについて

名前	意見内容
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、配布した構成のような景観ガイドラインの内容について検討していただきたいということだが、質問や今の段階でのご意見はあるか。計画は理念や基本的な姿勢を示すものになるが、ガイドラインになるとかなり具体的なイメージになってくる。今日は意見がないようであれば次回以降より具体的な形で、たたき台を作って頂いて皆さんからご意見を頂きたいと思う。

◆その他

山武市内で、太陽光パネルの設置が増えてきている現状の中で、事務局から山武市内の設置状況をいくつか紹介した後、景観の観点から見た太陽光パネルについて意見交換を行った。内容は以下の通りである。

名前	意見内容
委員	・いろいろな見方があると思う。山武市にも設置されているが、どういった形で耐熱エネルギーが使われているのか。売電か。
事務局	・おそらく売電である。
委員	・そうすると商売をやめろという話になるが、見た目として美しくない。暴力的に感じる。ソーラーコレクターを使うためにどれだけエネルギーを使っているのか。数値的にどうというよりも風景としてはあまり好きではない。
委員	・例えば太陽光パネルを作ったら原発をやめるという事であれば、見苦しいが、大いにやった方が良くと思うが現実はそうではないと思っている。太陽光エネルギーを売ってお金が入る。ソーラー成金みたいな人がたくさんいるらしいが、その費用のほとんどが、家庭の電気料で負担している。私が今までやってきた住まいづくりは、木を燃やしてお湯を沸かしたりなど「自然エネルギーで暮らしましょう」と言っている。市民が、本当に自然エネルギーが大事だと意識するのであれば、太陽光ではなく、山武市にはまだまだやれることがたくさんあると思う。自然エネルギーになる資源がたくさんある。太陽光エネルギーは今たまたま高い値段で買ってくれるからお金の欲しい人がやっている。パネルが駄目になったら終わりだと思う。今、ローン0（ゼロ）の宣伝している住宅屋さんがいる。太陽光を設置すると、住宅ローンがそれで払ってしまうらしい。現実にそういうものがある。そんなことがいつまでも続くはずはないと思う。
委員	・景観との関係で言えば、垣根で囲うなどすれば少なくとも目の高さでは邪魔にならない。かえって緑が増えて良いのではないか。つくってしまったものを撤去するのは、もっと暴力的なので、緑で囲うなどの条件を設けたらどうか。
委員	・本当に最近目立つ。思いがけない所に思いがけないものが出来たという印象をものすごく感じる。今おっしゃられたように、植木や花で周りを何かで囲うなど、とにかく設置した本人が、太陽光パネルを見えにくくする工夫をすればいいのではないか。皆さん

	<p>お金儲けのためにやっているということもあると思うし、太陽光パネルをやめろというわけにはいかないが、設置したからには自分の責任で、あまり目立たないようにする意識を持ってほしいと思う。しかし緑で囲うにしても、木など植えられるようになっていのだろうか。その場合は大きなプランターとかでもできないと思う。あるいは看板を設置して子供達に楽しい絵でも描いてもらうなど、少なくとも周りから見えにくくするため、皆さんが努力した方が良い。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いた限りだと、これを設置した後、ランニングコストがかからない。そのため、設置して、やりっぱなしにしているという知り合いがいる。 ・見た目として、あまり良くないという印象は受けている。これをどうすればいいのかというところまでは考えが至っていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんがおっしゃられたように、周りを緑で囲うなど、景観計画の中に書き込めるのであればお願いしたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインでは書き込めると思う。ガイドラインの検討の際に対応をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・山武地区は特に遊休農地が多いのだが、荒らしっぱなしにしているのであれば、太陽光パネルの設置をした方が良いのではないかと、農業委員会に挙がってくる議案についてはほとんど問題なく通っている。まだ規制がなく、雨水の処理の問題や隣接地帯の田畑の許可が取れれば転用という形ですぐに通ってしまうのが現状である。実際に今後ガイドラインで、周りを緑で囲うなどの対策が出来るのであれば、なるべく早く決めていただければ、農業委員会の方でもどんどん規制が出来ると思う。また、原子力を止められるのであれば、太陽光パネルは賛成である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルを見えなくするという意見が出たが、どうしたら守れるかという部分が大事で、カッコ悪いのを隠そうというところまで踏み込めていないのが現状である。隠すべき景観であることをどうやって伝えたら良いのか考えていかななくてはならない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境との調和が重要だと思う。埼玉県湖の中一面に設置してあるところもあるが、そこでは皆さんそこまで抵抗はなかったと思う。山林地帯にあると異質なので、「周辺環境に調和した…」という形に出来ないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・山武の景観を守るという対策ができれば良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・つぶれたゴルフ場に設置すると良いと思う。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れているところに設置されている傾向があるが、太陽光パネルを設置することで、荒れた状態を良くすることができるという。例えば、併せて緑の設置を行った場合は緑が増えて良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルだけだとあまり良くない印象なので、設置したら他に公園等、付属してつくらせる形が良いと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル自体を禁止するのは難しいと思うが、太陽光パネルによって山武の美しい景観が壊されるのは避けてほしい。景観計画及び景観ガイドラインとして何が出来るのか考えていきたい。今後、事務局からガイドラインで具体的な方策を提案していただければと思う。